



【地区館情報】

飯山

◇飯山地区ソフトボール大会を開催します

期日 5月30日(日)
開会式 午前6時30分(城北グラウンド)
試合開始 午前7時

秋津

◇水梨子沢カタクリ鑑賞会・勸介山古墳学習会

4月18日(日)に開催しました。当日は天候にも恵まれ、カタクリの群生や多くの山野草を見る事ができ、春の訪れを感じる事ができました。

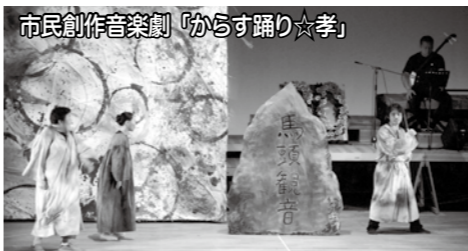
また、地元の自然と宝物を学習し、地域の再発見にも繋がりました。



*勸介山古墳
平成6年に県の史跡文化財に指定された飯山市域で初めて発見された前方後方墳。

第30回 飯山市民芸術祭開催

第30回飯山市民芸術祭は、日頃の練習の成果を発表する場として、飯山市民芸術文化協会主催のもと、開催されました。



展示部門として飯山市民公民館、飯山市民芸術館を会場に開催されました。30団体、個人7人が参加され、数多くの作品が展示されるとともに、体験コーナーが設置され、訪れた人々も実際に創

作活動に取り組みました。

4月18日(日)には舞台部門が飯山市民公民館からホールを会場に行われ、30団体、個人2人の参加のもと、55演目の舞台発表の他、市民創作ステージとして音楽劇「からす踊り☆孝」も開催されました。発表される皆様の日頃の精進の成果に大きな歓声と拍手が沸き起こっていました。

展示・舞台部門合わせて約883名の方が出品・出演され、来場者も1700人を越え、大成功の内に終了することができました。

木島

◇第18回レディースソフトボール大会

6月13日(日) 午後0時30分から、木島小学校体育館にて開催します。

瑞穂

◇瑞穂地区球技大会

の観察を行います。

常盤

◇「江戸時代の善光寺信仰と善光寺縁起絵伝絵解き」

常盤更生保護女性会と共催で4月4日(日)午後2時から、歴史の町長野を紡ぐ会代表の小林玲子さんを講師に開催しました。



地元を知る貴重な機会

柳新田区に保管されていた「御絵伝」を独特の語り口調で絵解きいただき、参加者40人は熱心に受講しました。

外様

◇第15回外様公民館長杯マレットゴルフ大会

日時 6月13日(日) 午後1時
場所 長峰マレットゴルフ場

◇かえるの学校(飯山ウィークエンド教室)

日時 6月20日(日) 午前9時
集合場所 外様公民館

飯山市民公民館との共催事業として、天然記念物黒岩山に生息するモリアオガエル、クロサンショウウオ、山野草

4月24日(土) 当日は、肌寒い天候のため活性化センター内で開催。中国からの農業研修生4名の参加もあり楽しい時間をすごしました。



交流を深めて

◇太田地区球技大会

6月20日(日)に、戸狩小学校グラウンドでソフトボール大会、戸狩小学校体育館でソフトバレーボール大会・緑の村ゲートボール場でゲートボール大会が開催されます。お詫び

5月16日(日)に開催を予定していた、第二回館長杯マレットゴルフ大会ですが、会場の都合により中止とさせていただきます。

◇第2回男の料理教室「魚のさばき方&魚料理」
日時 6月13日(日) 午後4時から
場所 常盤公民館
講師 水澤 孝好(山ノ内町) 持ち物 エプロン・出刃包丁
申込締切 6月7日(月)
出来上がった料理を肴に参加者全員で懇親会なんじかがありますか?
詳しくは、常盤公民館までお問い合わせください。

◇常盤マレットゴルフ大会

日時 6月20日(日) 午前8時から
場所 長峰スポーツ公園マレットゴルフ場

◇常盤ゲートボール大会

日時 6月20日(日) 午後1時から
場所 湯の入荘ゲートボール場

◇4月17日から29日「太田地区桜まつり」を開催しました。



◇「第2回恋する太田」開催しました。

子ども達の作品をご覧ください
第29回 いいやま雪まつりポスター原画展示
期間 6月18日(金)~30日(水) (予定)
場所 飯山市民公民館
いいやま雪まつり実行委員会

痛ましい事件が相次いで起きています。5歳の男児が餓死、1歳の女児が虐待死、4歳の男児が衰弱死など。家庭内で起きている虐待を外から気づくことは難しいことです。しかし、虐待を受けている子どもたちに共通する特徴は、そのことを誰にも言えないでいることです。子どもたちの多くが口を開かない最大の理由は、子どもの訴えに耳を傾け、真剣に受け止めて援助しようとする大人が周囲に少ないからだと言われています。確かな証拠がないのに、虐待を疑うことは躊躇されます。しかし、自身で確実な証拠を見つけることではなく、適切に疑い、通告して、関係機関による安全確認に協力することが一市民としての責務である、と誰もが受け止めるようにならないと悲惨な事件は後を絶たないでしょう。

ある統計によると、虐待を行った者の内訳は、実の母親が58・6%、実の父親が24・2%で、実の親による虐待が8割以上を占めているとのこと。 いったいなぜこのようなことが起きるのかと考えたと

権 学習シリーズ

「誰にも言えない子どもたち」の心の声を聴く

飯山市教育委員長職務代理 田中 妙子

き、私は中学校で教師をしてきた頃のことか思い出されいます。短すぎるスカート、茶髪やピアス、異性交遊など、生活が乱れている女子生徒を論じているとき、言葉が染みていかなぬがゆさを感じる。と同時に、この子がいじめられ結婚して子供をもったとき、む

の内の4割が自分の子どもに虐待をしているというデータがあります。このような負の連鎖を断ち切るために、学校・地域・行政はどうすればよいのでしょうか。

虐待、DV、人権問題に携わる専門職研修を全国で行っている森田ゆりさんは、「虐待体験が子どものその後の人格形成に極めて深刻な影響を及ぼすのは『誰にも言えない』現実に由来している。私たち大人の一人一人が、子どもが『言える誰か』という環境になること、それが虐待防止の最も効果的な方法だ」と書いています。

虐待がもたらす恐怖感はずかたたり、言つことを聴かない我が子をどうやって諭すのだからかと思いました。当時は、まだ児童虐待という言葉もなく、このような悲惨な事態を想像することはありませんでした。

施設の子どもたちの母親の5割がDVの経験者であり、そ

心の傷は目に見えないために、気づかずに放置されることも多いでしょう。虐待を受けている子どもたちの心の声を「聴く」ことができる大人になりたいと思います。